



平成 28 年 5 月 20 日

各 位

会 社 名 OMソーラー株式会社
代表者名 代表取締役 飯田 祥久
(コード番号・2401)
問合せ先
役職・氏名 事業管理部 塚本 勝己
電 話 053-488-1553

特別損失の発生と業績予想及び配当予想（無配）の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期第 4 四半期（平成 27 年 12 月 21 日～平成 28 年 3 月 20 日）におきまして、下記のとおり特別損失を計上することになりましたので、その概要をお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、平成 28 年 2 月 10 日に開示した業績予想及び配当予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせします。

記

1. 特別損失の発生およびその内容について

第 4 四半期に 12,756 千円の特別損失が発生しました。これは、平成 26 年 11 月 14 日開示の「テゴ電子株式会社との業務提携解消に関するお知らせ」に記載の業務提携解消に伴い、それまで保有していた太陽光発電モジュールの在庫を処分した際に発生した売却損を計上したものです。

2. 当期の業績予想数値の修正について（平成 27 年 3 月 21 日～平成 28 年 3 月 20 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 28 年 2 月 10 日発表)	千円 1,900,000	千円 10,000	千円 10,000	千円 5,000
今 回 修 正 予 想 (B)	1,573,868	10,193	6,534	△7,410
増 減 額 (B-A)	△326,132	193	△3,466	△12,410
増 減 率 (%)	△17.2%	1.9%	△34.7%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	2,116,140	△63,466	△63,804	△132,225

【修正の理由】

平成 27 年度（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）の持家の新設着工戸数が前年度比 2.2%増の 28.4 万戸と微増に止まり、当社の新築売上棟数も前年比 0.9%減と前年度の棟数とほぼ同数となりました。このため、提携を解消した太陽光発電事業の売上減少分を十分に補うことができず、売上高につきましては、前回発表予想を 326,132 千円下回る見込となりました。しかしながら、空気清浄フィルター「OMエアフォール」など粗利率が高い独自商品の拡販や、旅費交通費・交際費などの一般販売管理費の削減により、営業利益は前回発表予想とほぼ同額の 10,193 千円となる見込みです。経常利益は外部の協会の事務委託費などの雑収入があり

ましたが、前回発表予想を 3,466 千円下回り、6,534 千円となる見込みです。

また、特別損失 13,671 千円の発生に伴い、当期純利益においては前回発表予想を 12,410 千円下回る見込みとなり、上記のとおり業績の修正を行うものです。

3. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	中間期末	期末	年間
前回予想 (平成 28 年 2 月 10 日開示)	円 銭 —	円 銭 500.00	円 銭 500.00
今回修正予想	—	0.00	0.00
当期実績	0.00		
前期実績 (平成 27 年 3 月期)	—	—	—

【修正理由】

当社の利益配分につきましては、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識しており、長期的かつ安定的な事業発展に必要な内部留保を確保しつつ、業績動向を勘案し安定した配当を継続実施することを基本方針としております。

しかしながら、上記に記載しましたように、平成 28 年 3 月期通期の当期純損失の見通しが 7,410 千円となりました。期末配当予想につきましては、平成 28 年 2 月 10 日付「平成 28 年 3 月期 第 3 四半期決算短信 (非連結)」にて 1 株当たり 500 円と発表しておりましたが、これらの結果を勘案し誠に遺憾ではございますが、無配に修正させていただくことになりました。

なお、来期は市況が改善する見通しであり、さらに当社としては新規事業の開拓に注力するとともに収支の改善に努め、早期の業績回復と復配を目指していく所存です。

以 上